

議 事 録

会議の名称	平成 28 年度第 1 回太子町総合教育会議
開催の日時	平成 28 年 10 月 21 日（金）15 時 40 分～16 時 40 分
開催の場所	太子町役場 B 301 会議室
出席した構成員	（町長）服部 千秋 （教育委員会委員長）三浦 淳子 （教育委員会委員）福田 幸代 （教育委員会委員）福田 敏博 （教育委員会委員）圓尾 健太郎 （教育委員会教育長）寺田 寛文
出席した説明員及び事務局職員の職及び氏名	説明員（教育次長） 木村 和義 （教育委員会管理課長） 首藤 武司 （教育委員会社会教育課副課長）中井 眞由美 （教育委員会管文化会館館長） 田中 みずほ 事務局（総務部企画政策課長） 栄藤 雅雄 （総務部企画政策課係長） 福井 照子
傍聴者	なし
議事	（1）教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について （2）その他
会議の概要（結論）	別紙議事録のとおり
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	次第
連絡先	総務部 企画政策課 TEL:079-277-5998 FAX:079-276-3892

1. 開会

事務局

(栄藤企画政策課長)

皆さんこんにちは。定例教育委員会終了後に予定しておりました平成 28 年度第 1 回の太子町総合教育会議をただ今から開会させていただきます。昨年度の総合教育会議でもお話をさせていただきましたが、総合教育会議はこの場で何かを決議するとか決定するというような性格のものではございませんので、議長を決めるとかこの会議の委員長を決めるとかというようなことはいたしませんので、事務局といたしまして企画政策課の私の方で司会を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、この総合教育会議の開会にあたりまして服部町長からご挨拶をお願いいたします。

2. あいさつ

服部町長

皆さんこんにちは。今日はお忙しいところ、総合教育会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

教育委員の皆様とは正式な会議では全員揃っては今日が初めてお会いする場でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

この総合教育会議につきましては、国の方針のもと、このような運びになっておりました。これまでの議事録も読ませていただいておりますけれども、今までの議事録の中には町長が同じである間は大綱は変えないとかそういった部分もありますが、代わりましても年度途中でございますし前回と同じように今回につきましては皆様方のご意見をお聞きして、どこまでできるかできないかは別といたしまして、少しでも町の教育に町長部局から活かせる部分は活かしていきたいと思っておりますので、委員の皆さまからご意見をいただけたらありがたいと思っておりますので今日は意見をいろいろお教えいただけましたらありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

(栄藤企画政策課長)

ありがとうございました。次に教育委員会を代表いたしまして、三浦教育委員長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

三浦教育委員長

皆さん、こんにちは。定例会に続きまして、第 1 回目の太子町総合教育会議を今からさせていただきます。本年度委員長を務めております龍田地区の三浦と申します。よろしくお願いいたします。前年度は 2 回開催され、本年度は 1 回、今回が初めてですが、町長さんも代わられましたので私達も町長さんの意見などを聞きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局

(栄藤企画政策課長)

ありがとうございました。

それではこの総合教育会議はお手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。資料でございますが、次第と構成員の名簿をお配りさせていただいております。この総合教育会議につきましては町長と教育委員会から委員長、委員、教育長、計 6 名で構成されております。ご確認をよろしくお願いいたします。それから、本日の会議に出席しております説明員でございますが、教育委員会から木村教育次長、それから教育委員会管理課の首藤課長、文化会館の田中館長、社会教育課の中井副課長です。それから事務局

といたしまして企画政策課の私、栄藤と福井が出席しております。よろしくお願いいたします。

3. 議事録署名委員の選定

事務局

(栄藤企画政策課長)

それでは、次第の3番目でございますが、議事録の署名委員の選定でございます。本日の平成28年度第1回の総合教育会議の署名委員といたしまして、福田敏博委員と圓尾健太郎委員にお願いをいたします。よろしくお願いいたします。

お二人には後日事務局がまとめました議事録をご確認のうえ、ご署名をお願いいたします。

それから議事録でございますが、昨年度の議事録は教育委員のお名前を記入しておりませんでした。何々委員ということで記名をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

3. 議事

事務局

(栄藤企画政策課長)

続きまして4番の議事でございます。議事の1番、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策についてということで、本日の総合教育会議の次第のメインといたしましうか、このために総合教育会議を開催するわけでございますが、重点的に講ずべき教育の条件整備の施策について、皆さまからご意見等をこの場でお伺いしていきたいと思っております。ご意見、質問等何でも結構でございますので、忌憚りの無いご意見をいただきたいと思っております。どなたからでも結構でございます。よろしくお願いいたします。

この時期に総合教育会議を開催するというのは、来年度、29年度の施策を、もうしばらくいたしますと予算の要求という時期が参りますので、そういう時期に合わせてこの会議を開くという一つの意味がございます。これは予算を伴う施策ばかりではありませんが、何か事業を行う、施策を実施するということになりますと予算的なものも必要であろうということで、この時期ということでございます。もちろん新規施策だけではなく、既存事業につきましても皆様から考え方、ご意見等をおっしゃっていただきたらと思っております。いかがでしょうか。

福田敏博委員

給食センターの件ですが、今年の補正予算は見送られたということをお聞きしました。だいぶ古くなってきて今後建て替えが必要だと思っておりますが、その部分については町長はいつぐらいの予定でどういう形で今後やっていかれようとしているのかお聞きしたいと思います。

服部町長

おっしゃるとおり給食センターは古くなっておりまして、現在、土地も含めまして従来から教育委員会でいろいろと労を取ってくださって、現状把握ですとか場所の候補地を含めていろいろと検討してございまして、その労に対しては感謝をしております。5月だったと思っておりますが、最近、全国規模で災害が発生し雨がたくさん降って川が氾濫したりして建物等に被害が及ぶことも国交省から新しく報告されており、従来と同じような考え方だけではせっかく建てた公共の建物が台無しになったり十分機能しない場合があると困りますので、本当により良い場所はどこなのかということ

も含めて今検討をさせていただいているところでございます。候補地は複数あるわけですが、それがまだ今は町長部局と教育委員会で場所も含めてもう一度検討をしておる段階でございます。古くなっているので早く建て替えなければいけないということは十分私も認識しており、従来から、おそらくは十年以上前からこの町の懸案事項の一つであったと思います。できる限り早く場所を決めまして、できるだけ早く着工して、できるだけ早く安全安心な給食を子ども達に提供したいと思っておりますので、正式に決まりましたら発表させていただきますのでご理解をお願いいたします。

事務局

(栄藤企画政策課長)

教育委員会の方の考え方、町長の考え方、双方ともに早く建て替えなければならない、なというような方向では一致しているという風に、ここでは従来からそういう確認はさせていただいておりますけれども、今意見の交換があったということで、方向性としては早急にということでは一致しているという風に思います。

三浦教育委員長

早急にと言われますけれども、今から土地を探して予算化すると数年はかかりますね。すぐには着工できないですよ、土地を今から探してするっていう形となると。それがどのくらいの期間内かというとのは全然分かりませんか。

事務局

(栄藤企画政策課長)

これから土地を探してということであれば数年かかるのではないかというご意見でしたが、教育委員会として計画といいますか今後の工程について、このパターンであればこうとかいうことを、もし説明できるようであればお願いします。

木村教育次長

従来からの流れでいきますと、とりあえず予定地としては1つありましたけれども、それ以降、町長が代わられた経緯も踏まえて新しい土地を今選定作業しております。その中で最終的に新年度予算までにその方向性が、従来の所になるのかそれ以外の所になるのかによって予算計上ができるできないというのが決まってくるかと思っております。万が一、当初予定されていた場所以外の所ということになりますと、これもまた複数年の年月を要してきますので、安全安心という給食を提供する教育委員会の立場といたしましては、できるだけそこを何とかするという方向になりますと、町長にお話をしていないんですけれども、万が一そういうことになると新年度予算の中で給食センターの設備関係の新たな更新というものも同時に考えなければならないのかなという風には考えております。ですから、それも当初予定の所であれば何とか今のスケジュールどおりに行うこともできる可能性はありますけれども、そこは我々もどの方向性になるのかというのが定かではありませんので、できるだけ用地選定については今作業をやっていることを踏まえて町長に十分ご説明した上で、基本の方向性はできるだけ新年度予算までに決めていきたいという風には考えております。

服部町長

今の件ですが、方向性は今次長が言ったように新年度予算までに決めたいと思っております。数年遅れるのではなく、新しい所になっても用途の許可を県からもらうことに関して、2年ぐらいのロスが、もしも他の所になれば出るものと想定されます。そして、

今次長が言われた新しい施設の更新となればということですが、それは食器を洗う時のボイラーが仮に壊れればその物についてはお金がいるわけですが、壊れなければいいわけでありまして、初めからそれを更新するという、そういう議論はいかがなものかと私は思っております。また、この用地の問題については、教育委員会が今そこまで言われたので申しますけれども、従来より議会に対して十分な説明がなされておらず、また、議会に対して場所は決まっていなくておきながら、いろいろと分からない状況でいろんなことがございましたので、それでは議会に対して嘘を言っておられるのではないですかということは私も町長になっているんなことが内部の資料を見ている段階で分かってきておりますので、そのことは申し上げてきております。また、住民の方と二日前ですかね、に会った時もやはり場所については十分よく考えてというか、分かり易く言えば新しい場所を考えるという意見の方が圧倒的ですよと言われましたし、その数日前にまた別の町民とお会いしましたけれども、そういうことが、その人がおっしゃるには、住民の間で話題になってると。ああ、そうなんですかと私は言ってその人の意見を聞かせていただきました。そういう状況でございますので、十分住民のご意見も聞きながら進めて行くべきであると考えております。この庁舎のことについても住民からいろんなご意見が出ている状況でございますので、できるかぎり住民から不満が出ないように、また、華美なものにならないようにその機能を果たすという意味のものを建てていくべきであると思っておりますので、従来教育委員会が進められてきた部分とは違う部分があるわけですが、この前、教育次長と管理課長、それから経済建設部長が場所を見たりして、その報告を私がまだ受けておりませんので、おそらくこれは数日以内か一週間以内か分かりませんが、すぐいただけると思っておりますのでそれを見て、また教育委員会と町長部局と話を進めていきたいと思っております。

事務局
(栄藤企画政策課長)

今、町長のお考えをお話いただきましたが、この件についてはよろしいでしょうか。あと、何かご意見等ありましたら。

寺田教育長

教育委員会が口を開けばお金がいることばかりで誠に申し訳ないですが、町長と一緒に体育大会等々で各学校施設、または社会教育施設をまわらせていただいたんですが、やはり経年劣化で非常に傷んでいる所がたくさんございます。その辺のところも回っていただいて、それから今も教育委員会の中で、支援を要するような「障害者差別解消法」ができて施設等も充実させていけないといけないという中、また、太子町は転出入が非常に多い町で、支援を要する生徒も、また支援学級に入れないグレーゾーンの学力的な、行動的な面で支援を要する児童生徒が多いものですから、補助的な人員もこれから説明していかなければいけないのではないかと考えているところでございます。

事務局
(栄藤企画政策課長)

教育委員会の方の意見ですけれども、それに対して町長のコメントや意見等はございますでしょうか。現状を説明させていただいたということでもよろしいですか。

町長、支援を要する児童生徒に対する整備充実というようなお話が出ましたが、それに対してコメント等ありますでしょうか。

服部町長

はい。今おっしゃられたことにつきましては、いろんな状況におかれている子どもさんがおられます。ここ数日の間に、私がお会いしたのはそういう支援を要される方の保護者様の代表の方とお会いして意見交換をいたしました。また、ある施設を訪問させていただいて、その中に通常の子どもさんと、個性のある子どもさんが混在しておられる様子も実際に見せていただきました。なぜ私がこれをさせていただいたかと言うと、そういった方々への事をやっていくべきだということを私も考えておるからです。そして私の公約の中にその事も触れさせていただいたとおりであります。しかし、今教育長がおっしゃった事については、補助的人員という言葉をお使いになっているわけですが、この事についての人件費ですね、予算を伴う部分については今私はここで言うところの確約したことになりますから、こうしますということはお答えできませんけれども、どのようにしていくのがその子どもさん、また、保護者様にとって今より少しでもいいものになるのかということを実際に私も考えて、また、近い将来もそういう所をお尋ねしたり、ご意見をお聞かせいただいて方法論を少しでも、そんなに多くの事を急に出来るとは思っておりませんが、少しでもさせていただけたらと思っております。

また、教育委員会現場におかれましても、そういう個性を持たれたお子さんが同じクラスの中に入ってどのようにしていくのがその子どもさん達にとってもいいのか、また、そうでない子どもさんたちにとっていいのか、そういう子どもさんが教室に入った時に自然な形で受け入れる状況にするには、今されてないという意味ではございませんが、どのようにしていくのが教育現場としていいのかということを含めて教育部局また教育委員の皆様のお知恵をいただきながらより良いものになればいいのではないかと私は思っております。

事務局

町長のコメントをいただきました。

(栄藤企画政策課長)

福田幸代委員

今、手立てをしてくださる方向でということでお答えというかお聞きしましたが、本当に、補助というか支援の必要な子どもさんは支援学校とかに入る方もいますけど、支援学校じゃなくて普通学級で過ごされている方もかなりいて、指導補助員の方がわりと今、小学校でも幼稚園でも増えてきて運営が上手くいっているように思います。それで、手立ての必要な子というのは、増えてきているような気が、増えてきていますとは言いきれないですが、なかなか集団に溶け込めないとか、そういう子も小さいうちほど補助員の方の力というのがすごく必要じゃないかと、幼稚園とか小学校とかに行かせてもらった時に思います。高学年になると成長してくるので、ある程度落ち着いてきますが、幼稚園とか小学校の低学年のうちはやはり補助員の方の力と言うんですか、そういうのがすごく大切で重要であると思いますので、他の障害を持っていない子どもさんとか普通に授業を受けられる人の学習の機会も保障しないとイケませんし、手立ての必要な子ももちろん学習する権利もあるので、ぜひ現場の先生方の意見というんですか要望も聞いていただきたい。1年生にある指導補助員を2年生くらいまで設置するとか。人件費がかかることなのでどんどん増やしてくださいとは言いきれませんが、ぜひ増員

していただける方向で。早いほうがいいと思うのでぜひお願いしたいと思います。

服部町長

今、手立ての方向でと最初におっしゃいましたが、私はそういうことまで言い切ったのではなく、したくないと申し上げてるのではなくて、人件費が関わってくることなので先ほど断言はしておりません。少しでもより良くなるようにということは思っております。そういうことをしたくないと言っているのではなくて、可能な範囲でしたいと思っております。学校現場の様子につきましても、今委員さんがおっしゃったように私もある小学校に、町長になってから現場を見に行きました。それは給食のことも関係があって見に行きました。その時にそういう手立てが必要な子どもさんが何人いるか、そこにおられた管理職は他の学校にもおられましたので、大きな学校にもおられたり、また、小さな学校にも変わられたりして人数の計算、これは管理課長とも後で話をさせていただきましたけれども、どの程度いるかによってその人数計算をしている訳ですが、しかしながら、大きな学校と小さな学校を小数点で割ると、どうしても小さな学校の方がもしかしたら手厚く見られる場合もあるという趣旨のことは管理課長と話をしていた理解しましたけれども、そういう子どもさんに対して少しでもできることをさせていただきたいと思っております。その人数について、子どもさんが増えているのではないかということについても、おそらく精神科の医師だったと思いますが、町長室に来られたある医師の方とこのことについても話をさせていただきました。そういう子どもさんが最近増えているのではないのでしょうかという趣旨を話しましたが、しかしそれはそうではなくて、そういうことが今分かってきていると、昔も同じようにおられたけれども、そういうことが目に見える形になっているのが現在の状況であると思われるというのがその先生のご見解でした。昔もいた、今もいますけれどもその割合は同じであろうと。しかしながら、今はそういうことが分かるようになっていっているのではということでございましたので、私もそうなのかなと思ってその時間かせていただきました。ただ、現状としては家庭の教育力、また、地域の教育力等、従来と違った部分もございますので、そういったことについてもその先生と話させていただきましたが、なかなか以前と地域コミュニティの状況が変わってきている部分もございますので、そういったことも含めてどのようにできるかできないか、地域の教育力を、子どもを見守る力を高められないかという必ずしもそういうことではなくて、いい例かどうか分かりませんが、この前、いきいき百歳サミットに行きました時に、ご高齢の方が集まってそういうことを続けることによって地域の方達と話ができ、また、子ども達に接する機会も、地域とのことも増えているというような事例についてもそこで知った訳でございます。それもどこまでできるかできないかということもあるので、一つのことだけでなくいろんなことを含める中で太子町という所が、本当に地域の方々が皆さん声を掛けあって、地域の人達に温かい目で見えていただく、今まで以上に注いでいただける町になれば、また少しでも、いきなり良くなるかどうかは、ちょっとずつしかないとは思いますが、そのような町になるようにトータルでできればいいなと、抽象的な言い方で申し訳ないですが、そのような町にできたらいいなと私は思っております。

事務局

(栄藤企画政策課長)

この施策等について説明員の方から補助的な、補完的な説明等がありましたらお願いいたします。無ければ結構です。

よろしいですか。

他に何かご意見等ございますでしょうか。

先ほどからお話が出ていますように、この重点的に講ずべき施策というのはハードだけではなく、ソフトというのも当然加えておりますので建物、施設ばかりではなくてソフト的な事業という面でも、対象になっているということでお考えいただいたら結構かと思います。

その他にご意見ございませんでしょうか。

この総合教育会議は、私が冒頭でも申し上げましたが、決定とか議決とかいうことをする機関ではございません。双方が意見を出し合って、どのようなお考えをお持ちなのか、どのような方向に向かっているのかというようなことを確認する、あるいは、認識しあうというそういう会議という位置づけでございます。今までのお話でも、この工程というのは決定であるとか、あるいは、この事業は予算に関係無く実施するとか、そういうことがこの場で決定したということではございませんのでその認識は皆さんよろしくお願いたします。

議事の一つ目の教育の条件整備など重点的に講ずべき施策についてということでお話をさせていただいた訳ですけれども、他によろしいでしょうか。

福田敏博委員

それは1番についてということですか。

事務局

(栄藤企画政策課長)

そうです。議事の一つ目。

特にあと、条件整備についてはよろしいでしょうか。

それでは、折角の機会でございますので、その他ということで、教育全般にわたって双方でご意見を交わしていただいたらと思います。

何かありましたらお願いたします。

福田敏博委員

一点だけ。

今回このような第一回の総合教育会議ということで私ども教育委員と町長がこうして初めて場を持ったということですが、最初にお聞きした方がよかったのかも分かりませんが、町長の思われている太子町における学校教育のあり方といいますか、考え方という部分をお聞かせいただければ幸いです。

今後、年に一回なのか、何かあった時に次にやるのか、また、29年度にやるのかというのがありますけれども、会議をやっていく中で、やはり私どもも教育委員としてやっていく中で、町長の思いというのもお聞きしたうえで、どのような考えを持って学校教育のことを考えられているのかというのを簡単でもよろしいのでお聞かせ願えればと思っておりますがいかがでしょうか。

服部町長

教育のあり方のどのような部分について言ったらいいでしょうか。

福田敏博委員

学区にしてもそうですし、例えば小学校、中学校における活動というんですか、どうすれば今以上に子ども達が学校に行って、先ほどもアンケートを見たんですが、学校に行って楽しいなとか、こういうことをやっていきたいなというのは当然周りがある程度手助けもしないといけないですし、そういう環境も与えてあげないといけないというのは多分あると思うんですね。それをやる上において町としてできる部分とできない部分というのもあるでしょうし、もこういう風にすればもっとやっていけるんじゃないかと私ども考えているところはあります。全般に太子町で学校教育は、という部分を捉えた時に町のトップとしてこういう形の中で自分は学校教育を地域も含めてこういう風に考えていますよと、私はこう思ってますよというのが何かあれば。

服部町長

はい、分かりました。学校教育についてということですので、どういうところまで答えればいいのか、あるいは、どの側面を答えればいいのかということ、いろんな側面があると思いますので一言では言えませんけれども、私は基本的には、学校現場は外からのいろいろなご意見というか目が入っていくべきだと思っております。それは、私自身が元教員でありましたので自分に対する反省の意味も込められています。全部の先生がそういうことではございませんけれども、先生というとそれがステレオタイプに言うのでそれがかえって失礼な言い方になるかもしれませんけれども、どうしても従来であれば、最近は大いぶ変わってきていると思っておりますが、学校の中にいて先生、先生と言われて、自分が自分のクラスで指導してあまり外からは口出しをされたくないとか。古い時代にはあったかと思っております。最近はずしもそうではないかと思っておりますが、それは最近の学校を見ていても感じています。ですが、いろいろな外からの人から見ていただいて、外からの人、保護者様、地域の方に叱られて、頭を下げて教師が接していくことが必要であると私は基本的に考えております。これは、私自身が教員を辞めて、高校の教員を辞めてから大学の教員の時期もありますけれども、議員やって頭を人に下げながらやはりそうあるべきだと思っております。分かり易く言いますと、これはこちらの教育委員会に議員の時に申し上げたことは、具体的に言った方が分かり易いので長くなって恐縮ですが申し上げますが、オープンスクールが始まった頃私も学校へ行きました。で、学校の先生が頭を下げませんでした。私はあまりにも学校の先生が頭を下げないので、すれ違う人全員に頭を下げてみました。そうするとその時、半分の教員が頭を廊下ですれ違う時に下げてくれました。半分の教員は頭を下げませんでした。これが私がその時に経験した事実であります。で、その時はすぐには教育委員会には申しませんでした。元教員が、あるいは、私も親族の中に教員がおり、お世話にもなっておりますので、あまりにもケチをつけているという風にしか思われないと困ると思ったので我慢をしていましたが、ある時、教育委員会に行き、当時の管理課長他にそういうことを言いました。それはその後現場にも言われていたと思っておりますが、同じ学校に行っても、今は教員は頭も下げられるし挨拶もされますけれども。今一つの例で、もちろん教員はそれだけではありませんが、かと言って皆が頑張っていないと言うつもりでもないですけれども、一つの例です。そういう部分がありますので、学校現場は外からいろいろな意見をもらい、教師は、教師だけではありません、これは役場職員も一緒ですけれども、

「自分は先生なんだ」みたいな姿勢でなく、保護者様や子どもや皆さんに接していくべきだと思っております。それは冒頭に申しましたように、自分自身に対する反省でもございますので人だけを批判しようという姿勢で申し上げているのはございません。そういうことの一つから私は自分の選挙の時に書いたのは、義務教育現場に例えば大学の先生に行ってもらって話をしてもらうのも、ちょっと話が飛んでいますが、その一つでもあります。それは実施するに当たってはそんなに困難なことではないので、やりたいということで書いて、教育委員会にも町長にならせていただいて登庁後すぐに言っておりますが。これは学校現場の様子、授業でそれをとれるかとれないかないかということがあるのでそれを調べてということで、その結果はまだ私いただいているので、それが教育現場が受け入れてくださるか受け入れてくださらないということもあるわけですが、そういった広い視点の、子どもに分かり易く話をもちろんしていただきますが、視点のことが必要であると思っております。そういったことについては、太子町内にも大学の教員がおられまして、私は既にそういったことについてはその知合いの大学の教員に、もしも万一そういうことになったらお願いしたいということについては既に話はしてあります。今、外からの目が必要であるということについては申し上げたとおりです。ですから、学校評議員という方も現に存在するわけですが、そういった人達ももっとどんどん厳しい意見は言っていた方がいいんじゃないかという風に私は思っております。そういうことを、教員に対してははっきりいろいろと言っていくことが学校をより良くしていくことであると思っております。学校現場が何かあったときにその事柄を隠してしまうという部分も従来であればあったわけでありまして。ですから、親を呼びつけて教員が親を囲む。私もいろいろ歩いて回っていると親のいろいろなご意見、こういうことがあったんですよ、ああいうことがあったんですよということは自分の新聞を配って回っている時に住民の皆様からお聞かせいただいております。やはりそういう風に住民がおっしゃるといことはその内容が、教員が全部悪いというつもりは私ございませんけれども、相手様はそのように思われたということがあるということも事実ですので、やはり外の意見に謙虚に耳を傾ける姿勢が教員には必要であると思っております。今は基本的な学校はこうあるべきじゃないかという思いを述べましたが、いろいろと話をしていましたら、この側面はこう、あの側面はこうと私だけがいろいろとしゃべらせてもらうことになってしまうわけですが、私は一つ申し上げますと、そういう風に自らを反省しうる場を教員が持つということは重要だと思っております。

事務局

(栄藤企画政策課長)

その他でございますので議題は何というのは特定しておりませんが、その他何かございますでしょうか。今、開催の予定のお話があったかと思えますけれども、この総合教育会議の開催時期といいましょうか、こういう場合に開催するというのは法律では二つ規定してあります。今回の議題の一つになっております教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について話し合います。もう一つは、児童、生徒等の生命あるいは身体に現に被害が生じる、また被害が生じるおそれがあると見込まれる場合に、緊急を要する場合に講ずべき措置について協議を行うという二つの開催の機会がございます。それから、最初の総合教育会議で話をいただきました教育の方針については第一回で決め

ていただきましたけれども、その要素がございます。今後につきましては、先ほどもお話しさせていただきましたとおり、予算の編成前という時期というのが定期的にこの条件整備についてのお話をするには適当な時期であろうということで、この時期に少なくとも年一回定期的には開催してはどうかと事務局としては考えておりますし、昨年度の会議でもお話しをさせていただいたところでございます。開催の召集については、町長が行いますが、教育委員から召集を要請していただくことも可能でございます。開催につきまして、事務局の方から説明をさせていただきました。

服部町長

その開催のことですけれども、本年度も、来年度今予算を考えるにあたって皆様方のご意見があればということでこうさせていただいております。また、国の方に開催したことの報告をしなければならない部分がありまして、一年に一回も開いていないということは、法律が出来ているのにここの地方公共団体はしていないということでそういうことも出来ないと思います。ただ私は、私の考えを申し上げさせていただくならば、私は今年度途中で町長にならせていただいておりますので、年度途中にいろんなことを申し上げさせていただくのは混乱を招いてもいけませんので、これはこちらのことに限らず役場の内部のことでもですが、出来る限り途中では言わないように努めてきておりますけれども、来年になりましたら状況を見ながら進めますけれども、やはり年一回だけでなくいろいろと皆様方のご意見を交わさせていただきたいことがあった場合にはお願いできたらありがたいと思っております。私自身は、今どのように学校区をするということについては、先ほど委員からもありましたが、こうするとまでは選挙の時も言い切ってはおりません。しかし、住民の皆様から多くの意見をいただいているのは、それが事実として本当にその通りかどうかという部分は十分に検討しなければいけない。つまりマンモス校であれば本当に教育の面倒見が悪いのか。小さいところであれば本当に面倒見が良いのか。じゃあ、人数を出来る限り、出来る限りと言いますかある程度減らしたり増やしたりすることによってそういった保護者様や、また、おじいさん、おばあさんのご不満の解消にそれだけでなるのかといったいろんなことがありますので、選挙の時も言い切ることはしていませんけれども皆さんの意見を聞きながら進めていきたいということは住民の方にご訴えをさせていただいたところでもあります。委員の方にも私個人的にお話しさせていただいた時には、住民の方のご意見を聞いていただいて、またお願いしたいということはお願いしましたけれども、予算の時だけに会議をお願いするというものではない場合があるかもしれません。何故かという、いろいろそういったことを検討する、あるいは住民の皆様のご意見を聞くということになれば、これ真剣勝負なので、住民の方はいろいろこうして欲しい、ああして欲しい、こうではアカンといろいろなことをおっしゃるわけですが、それはそういったことに逃げることなくそれを十分に受け止めていろいろその上でどのようにしていくのが皆様方の声に応えることになるのか、そういった姿勢で私は学校教育のことに限らず他のことについても臨んでいきたいと思っておりますので、万一また皆様方にご意見をお聞かせいただきたい、ご協力をいただきたいとお願いするということになりましたら、ぜひお願いしたいと思っております。ちょっと抽象的な言い方で申し訳ないですが、私はそういう姿勢で、真剣

勝負でこの教育のこともこれからも皆様と共にやっていきたいと思っておりますので
よろしくお願い申し上げます。

事務局

(栄藤企画政策課長)

先ほど私が提起ということで、少なくとも年一回予算編成前にということでお話をし
ましたが、もちろん町長から招集権と言いますか会議を開催したいということを依頼を
させていただいた際には、またこういう総合教育会議を開催をさせていただきたいと思
いますのでよろしくお願いいたします。

その他、ご意見等ございますでしょうか。

4. 閉会

事務局

(栄藤企画政策課長)

それでは、特に無いようでございますので、以上をもちまして平成 28 年度第 1 回の
総合教育会議を閉会させていただきます。今日は皆様進行にご協力いただきまして大変
ありがとうございました。